

標準施工仕様書

製品名	ラジセラ p r o
種 別	1 液水性多重ラジカル制御形無機有機ハイブリッド塗料
荷 姿	15 kg、4 kg
用 途	内外部壁面 屋根
適用基材	一般外壁、コンクリート、モルタル、窯業系サイディングボード、吹付タイル、スタッコ、リシン、金属系屋根、窯業系屋根、アスファルトシングル、陶器瓦等

工程	材料	調合	所要量/m ² /回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	① 下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いて下さい。 ② 劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。 ③ 塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
下塗り	下地に応じた下塗材をご使用ください。						
上塗り	ラジセラ p r o 清水	15 kg 0~8%	0.12~0.16 kg (93~125 m ²)	刷毛 中毛ローラー エアレス	2	4 時間以上	—

注 意 事 項

- ・上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合は、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・被塗物の表面温度が5°C以下の場合は塗装を避けて下さい。
- ・常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けて下さい。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下（pH10以下）になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥時間は夏期で1週間、冬期で2週間必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上の乾燥が必要です。
- ・シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、割れが発生することがありますので、基本的には行わないで下さい。やむを得ず塗装する場合は、重ね塗り適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・塗料使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌して下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・目地部が深い場合はハケなどで塗装して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。（排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。）
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

標準施工仕様書

製品名	ラジセラpro 屋根用遮熱色
種別	1液水性多重ラジカル制御形無機有機ハイブリッド塗料
荷姿	15 kg
用途	一般屋根
適用基材	金属系屋根、窯業系屋根

工程	材料	調合	所要量/m ² /回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	① 下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いて下さい。 ② 劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。 ③ 塗装面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
下塗り <small>※いずれか標準1工程</small>	窯業系	クオリティマルチサーフ 無希釈	15 kg 0.3~0.8 kg (18~50 m ²)	刷毛 中毛ローラー エアレス	1	24 時間以上	—
	金属系	メタルガードエポ (色調：ホワイト) 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14.4 kg 1.6 kg 0~8%	0.15~0.18 kg (89~106 m ²) 刷毛 中毛ローラー エアレス	1~2	4 時間以上 7 日以内	6 時間以内
上塗り	ラジセラpro (屋根用遮熱色) 清水	15 kg 0~8%	0.12~0.18 kg (83~125 m ²)	刷毛 中毛ローラー エアレス	2	4 時間以上	—

注意事項

- ・クオリティマルチサーフは無希釈でご使用下さい。
- ・クオリティマルチサーフの施工後、上塗材は必ず翌日以降に塗装して下さい。
- ・上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- ・2液反応硬化形の下塗りを使用する場合は、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合は、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・被塗物の表面温度が5°C以下の場合は塗装を避けて下さい。
- ・常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けて下さい。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗料使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌して下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。